

石狩管内

北海道札幌稲穂高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒006-0034 札幌市手稲区稲穂4条7丁目12番1号
- 問 合 せ 先 TEL 011-695-6922
FAX 011-695-6951
E-mail inahokoushi-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.inahokoushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「夢に向かって 心豊かに カー杯躍動する 生徒を育てる」
- 校 訓
「夢（稲穂ドリームの実現） 心（稲穂スピリットの育成）
力（稲穂パワーの発揮）」



□ 概 要

本校は平成23年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業や教科などの学習により、生徒一人一人が社会の中で自分らしく生きていくための実践的な能力や可能性を伸ばします。それぞれの夢に向かって、生活年齢に応じた豊かな心を育みながらカー杯躍動できる学校生活づくりを目指しています。

■特色ある教育活動（設置学科：生産技術科 木工科 環境・流通サポート科 家庭総合科）

本校が目指す生徒像

- ・社会生活に必要な知識・技能、マナー・ルールを身に付けた生徒を育てる。
- ・自分の願いや思いをしっかりと表出（言語化）できる生徒を育てる。
- ・将来をイメージしながら、社会の一員として自立し、働くことができる生徒を育てる。

【 生徒一人一人のキャリア発達を支援する教育活動 】

- ・作業学習を教育活動の中心に据え、段階的・発展的に現場実習などに取り組みます。
- ・社会の状況や学校、地域、生徒の実態を踏まえた各教科の学習に取り組みます。
- ・一人一人の教育的なニーズを考慮し、主体的・協働的に取り組むことができる学習グループを編成しています。
- ・生徒が「学ぶこと」の意義や面白さを実感でき、自分への気づきを深める教育活動（各行事の事前事後学習、生徒面談などを通した「言語化」）に取り組みます。

【 作業学習 】

- ・生産技術科は、様々な素材を主材料とする製品の製造や、地域資源を活用した学習に取り組みます。
- ・木工科は、木材を主材料とする製品の製造や、生産の基本的な流れについての学習に取り組みます。
- ・環境・流通サポート科は、清掃等の環境づくりや、商品管理、事務などの学習に取り組みます。
- ・家庭総合科は、布製品の製作、手芸、調理、住居の管理などの体験的な学習に取り組みます。

【 選択教科（音楽科／美術科）第2、3学年 】

生徒の個性を生かし、主体的に学習に取り組めるよう、自由に選択履修できる機会を設けています。
音楽科は、歌唱や楽器演奏、読譜法など、音楽に関わる基礎的な知識及び技能の習得を図りながら、表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への興味・関心を高めることを目標にしています。

美術科は、身近な材料・題材を扱う造形活動を通して、表現及び鑑賞能力を高め、自他の表し方や感じ方の良さに気づき、美術に対して自信をもって主体的に取り組むことを目標にしています。



生産技術科：紙工作業



木工科：組み立て作業



環境・流通サポート科：清掃作業



家庭総合科：布製品の製作



部活動：合唱部



生徒面談週間：生徒面談

■第1学年生徒の週時程表

【 学年共通 (教科グループ：A) 】

	月	火	水	木	金
	自立活動				
1	情報	作業 学習	保健 体育	作業 学習	職業
2	国語/ 数学		数学		家庭
3	理科				国語
4	保健体育		社会		保健体育
5	作業 学習	教科調 整時間	美術	外国語	LHR/ 道徳
6		総合	音楽	(隔週) 生徒会	

【 学年共通 (教科グループ：C) 】

	月	火	水	木	金
	自立活動				
1	国語/ 数学	作業 学習	保健 体育	作業 学習	国語
2	職業		美術		社会
3	外国語				数学
4	保健体育		音楽		保健体育
5	作業 学習	教科調 整時間	情報	理科	LHR/ 道徳
6		総合	外国語	(隔週) 生徒会	

* 登校時間 8：40 (月～金)

* 下校時間 15：35 (月～水) / 14：40 (木・金) ※木は隔週 (15：35)

■教育課程の特徴

作業学習を中心に、生活に即した内容を学ぶ各教科の学習、特別活動及び総合的な探究の時間によって教育課程を編成しています。生徒一人一人の良さを課題を踏まえ、教育活動全体を通して、自立活動、道徳の指導を行います。

□ 作業学習

生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な知識及び技能、態度の基礎を身に付けることをねらいとしています。地域の方々と交流を深め、地域資源を活用した学習に取り組んでいます。生徒一人一人のキャリア発達を促すため、作業の意味や価値について丁寧に指導し、勤労観・職業観の育成を図ります。

□ 現場実習

第1学年で引率実習(1回)、第2学年で単独実習(2回)、第3学年で前提実習(1～2回)を実施し、生徒が学ぶ意義や働く意義を見いだして主体的に進路選択ができるよう、段階的な指導を行います。

□ 自立活動

朝に設定している「短時間で取り組む自立活動」では、健康への意識を高めたり、心理的な安定に特化した時間として活用しています。

「合わせた指導の自立活動」では、生徒一人一人の実態に応じた目標や指導方法を設定し、教育活動全体を通して取り組んでいます。

■卒業後の主な進路先について(令和6年度実績)

- 就職(一般就労、就労継続A型)～8名
【公務員、運輸業、飲食・サービス業、医療・福祉業 など】
- 福祉的就労 ～18名【就労移行支援、就労継続支援B型 など】
- 進学、その他～2名

学校Webページ

